

# 2014 年度社大海外ソーシャルワーク研修報告

## インドネシアの社会福祉とソーシャルワークの姿：社会省の取り組みを中心に

社会事業研究所所長 藤岡 孝志  
ヴィラーグ ヴィクトル  
 社会事業研究所共同研究員 VIRAG Viktor  
 元専門職大学院准教授 矢部 正治  
 社会福祉学部 4年 富岡 高史  
 社会福祉学部 3年 片山 健人  
 社会福祉学部 3年 小宮 春香  
 社会福祉学部 3年 染倉 有希

### はじめに

#### 研修概要

この海外研修においては、本学と連携協定を結んでいる社会省（日本でいう厚生労働省）の案内の下で、インドネシア共和国を目的地とした。インドネシアの社会福祉に関する基礎的な学習を踏まえ、様々な施設とサービス機関を視察した。バンドン社会福祉大学とインドネシア大学の社会福祉学部を訪問し、教員及び学生間の交流の機会を設けた。社会省では大臣の特別顧問、そしてインドネシア大学ではアジア太平洋ソーシャルワーク教育連盟の会長のフェンティニ・ヌグロホ教授と面会できるよう調整した。1万7千以上の島、約500の民族、700以上の言語を誇るインドネシアの多様性に触れるため、文化の体験学習、そして博物館などの見学も研修内容に含まれた。

研修期間 2015年3月15日～21日（7日間）  
 訪問地域 西ジャワ島（ジャカルタとバンドン）  
 参加人数 7名（引率スタッフを含む）

#### 研修プログラム

出発前の学習会を経て、以下のスケジュールに沿ってインドネシアを訪ねた。帰国後、現地で得

た知見を整理し、最大限に活かすために、4月より更なる学習会に取り組んできた。

2月～3月		総合オリエンテーション 事前学習会
3月15日(日)	午前	東京発
	午後	ジャカルタ着
3月16日(月)	午前	社会省
	午後	高齢者福祉現場
3月17日(火)	午前	障がい福祉現場
	午後	児童福祉現場 犯罪等被害者支援現場
3月18日(水)	午前	バンドン社会福祉大学
	午後	イスラム教ソーシャルワーク 現場
3月19日(木)	午前	社会省
	午後	インドネシア大学
3月20日(金)	午前	文化学習
	午後	歴史学習 ジャカルタ発
3月21日(土)	午前	東京着
4月～		帰国後オリエンテーション 帰国後学習会



#### 方法

本稿の内容は示している参考文献の他に、視察先等における聴き取りデータに基づいている。

#### 結果及び考察

##### 基礎知識と福祉関連統計の日尼比較

インドネシア現代社会に関する基礎的なデータを把握し、文脈の中で可視化するために、下記の表を作成した。本表から、インドネシアの経済状況、生活水準、人口構成について日本に照らし合わせて明らかになった。

	インドネシア	日本
面積 (km <sup>2</sup> )	1,904,569 (水 4.85%) 15 位 ※ 1 万 7 千島以上の世界最大列島 (広がりには米国相当)	377,915 (水 0.8%) 62 位
人口 (人)	253,609,643 (都市 50.7%) 4 位 ※ ジャワ島 58%	127,103,388 (都市 91.3%) 10 位
人口密度 (人 /km <sup>2</sup> )	124 89 位	336.24 40 位
民族	ジャワ人 40.1% スンダン人 15.5% ※その他は全て 5% 以下 (全部で約 500 民族) 	日本人 98.5% その他は全て 1% 以下
宗教	イスラム教 87.2% キリスト教 (プロテスタント) 7% ローマ・カトリック 2.9% ヒンズー教 1.7% その他 (仏教と道教) 0.9% ※不明 0.4% 	神道 83.9% 仏教 71.4% キリスト 2% その他 7.8%
公用言語	インドネシア語 ※ジャワ語ではない (全部で 700 語以上使用)	日本語
通貨	ルピア (Rp、IDR)	円 (\、JPY)
インフレ	7.7% 193 位	0.2% 13 位
GDP (10 億米ドル)	1,285 15 位	4,729 4 位
GDP 成長率	5.3% 49 位	2% 142 位
失業率	6.6% 70 位	4.1% 34 位
税等収入 (GDP 比)	15.8% 190 位	34.7% 69 位
財政黒字 (GDP 比)	-3.3% 133 位	-8.2% 198 位
財政債務 (GDP 比)	24.2% 129 位	226.1% 1 位
1 人あたり GDP (米ドル)	5,200 158 位	37,100 36 位

貧困線以下人口	11.7%	16%
ジニ係数（世帯所得分布）	36.8 82 位	37.6 76 位
医療費（GDP 比）	2.7% 181 位	9.3% 38 位
乳児死亡率（死亡 / 千人）	25.16 71 位	2.13 223 位
教育費（GDP 比）	2.8% 143 位	3.8% 115 位
平均在学年数	13	15
識字率	92.8%	99%
児童労働（5～14 歳）	7 %	NA
人間開発指数	0.68（「中」区分） 108 位	0.89（「とても高い」区分） 17 位
合計特殊出生率（人）	2.18 102 位	1.4 208 位
人口増加率	0.95% 124 位	-0.13% 210 位
平均寿命（歳）	72.17 137 位	84.46 3 位
年齢構成	<p>14 歳以下 26.2% 65 歳以上 6.4%</p>	<p>14 歳以下 13.2% 65 歳以上 24.8%</p>

※ Central Intelligence Agency (2015) と Permanent Mission of the Republic of Indonesia to the United Nations (2002) を基に作成。

## 近現代史

インドネシア諸島では、ヒンズー教・仏教・イスラム教王国時代が 16 世紀まで続いた。大航海時代に当たる 16 世紀初頭における最初の接触を経て、香辛料貿易を主たる目的としたオランダが徐々に影響力を増し、19 世紀初頭に「オランダ領東インド」が植民地として設立され、統一的な行政が誕生した。第二次世界大戦が植民地解放を可能にし、1945 年の独立宣言と 1949 年まで続く独立戦争の結果、現実となった。独立後、半世紀に渡り、スカルノ大統領（1949～68 年）とスハルト大統領（1968～98 年）の下で独裁的な側面が残る政権が続き、以降、現在に至る民主的な「レフォルマシ（改革）」の時代が訪れた。

## 社会省が展開する社会福祉政策と事業

### 背景

インドネシアは膨大な国土と極めて多様な自然界と社会に恵まれている半面、地域等の格差が課題となっている。したがって、社会問題化している貧困が政策の優先課題として位置づけられている。



社会省の建物

## 貧困対策と社会福祉の発展

憲法の役割を果たす 1945 年の国家基本法は貧困対策の国家の義務として定めている。これに基づく第 13/2011 号の法律は、貧困対策の詳細な規定について整理している。本法において、地域的なアプローチが中心となっている。なお、第 11/2009 号の法律は、各種社会問題に対する社会福祉的な対応について規定している。これらの社会サービスにおいて、エンパワーメントの視点と既存の資源活用について強調されている。



社会省にて

## 優先的な事業と活動

- ・ 家族希望プログラム (PKH)：最貧困世帯への条件付き現金給付
- ・ 不適切な住宅の社会的復興事業 (Bedah Kampung)：最貧困世帯の住宅改良
- ・ 世帯レベル経済及び生産活動推進事業 (KUBE)：貧困世帯による共同起業に対するマイクロファイナンス
- ・ 子どもの社会福祉プログラム (PKSA)：特別なニーズをもつ子ども及びその家庭への合計 4 種類のサービス
- ・ 障がい者の社会的リハビリテーション：施設内外の合計 5 種類のサービス
- ・ 高齢者への社会サービス：施設内外の合計 8 種類のサービス
- ・ 防災員 (Tagana)：地域の災害責任者の研修
- ・ 防災集落 (Kampung Siaga Bencana)：コミュニティ啓発
- ・ 移住労働者の社会的保護：被害に遭って帰国す

- る出稼ぎ労働者の合計 4 種類の支援プログラム
- ・ その他

## 戦略的な課題

- ・ 貧困対策において関係省庁との連携
- ・ 障がい者権利条約を受けて社会参画に向けた充実
- ・ 家族希望プログラムの拡大
- ・ 薬物乱用被害者のリハビリテーション・サービスの充実
- ・ 触法少年向けサービスの充実
- ・ 紛争地域への介入
- ・ ソーシャルワーク人材の養成
- ・ その他

## 社会省の主要な事業の詳細

近年、社会省が重点的に取り組んできている看板政策は以下の貧困及び災害領域におけるものである。

### PKH、家族希望プログラム (条件付き給付)

2009 年に発足した本事業は、国連のミレニアム開発目標 (MDG) に沿って進められている。具体的には、妊娠検査や予防接種などの母子保健サービスの利用と子どもの就学 (85% 以上の出席率) を条件に、最貧困世帯の母親に現金給付を行っていることで、最初の五つ MDG の実現に貢献している (極度の貧困と飢餓の撲滅、初等教育の完全普及の達成ジェンダー平等推進と女性の地位向上、乳幼児死亡率の削減、妊産婦の健康の改善)。2014 年に、4,480 地区において 300 万世帯を対象に合計 420 億ルピアを配布した。

社会省の貧困対策局のデータから対象となりうる家庭を抽出し、自治体から選ばれた家庭に給付を行う。ファシリテーターと呼ばれる民生委員のようなボランティアが家庭訪問を行い、適宜経済状況や家庭状況を確認し、学校や医療機関と連携し支援を行っている。ファシリテーターは原則その地域の人であり、ソーシャルワーク教育や高等教育以上を受けた者が対象となり、研修を受ける必要がある。



PKHの受給者になるまでのプロセス

最大6年間の給付を受けられ、その後貧困線を抜けられなかった場合は3年間の延長が可能。約4割が貧困線を脱しているという。継続的受給者はKUBE等、別の社会保障ヘリファアーしていく。

貧困と教育を強く結び付け、適切な教育を受けさせることで、貧困の連鎖を断ち切ることがこの政策の要である。

### KUBE、世帯レベル経済及び生産活動推進事業（マイクロファイナンス）

本事業では、貧困層から選ばれた10世帯が1組になり、共同で営利企業に取り組んでいく。この小規模のビジネスに対して、行政が基礎的な資金を貸し付け、必要な専門的なノウハウを提供する。最終的に、立ち上げた企業から利益が出て、提供された資金の返金が見込められるため、循環型事業となっている（返金後、その資金が別の世帯に支給される）。2014年まで、都市部で累計26,179組、農村部で累計39,199組が本事業の対象となっている。

### 災害対応

社会省は災害対応において関係省庁と連携をとり、役割分担をしている。具体的な活動は、発生

前対応、緊急対応、長期対応と分けられている。発生前対応では、地域コミュニティと自治体の災害管理能力の向上を目的とし、若年層から災害管理人員を募集・研修し、物資調達経路の整備を行っている。緊急対応には、災害管理人員の配置、災害物資の給付、被災者の避難、心理的支援が含まれている。長期対応は、被災者の復興ニーズのassessmentと金銭的及び心理社会的支援の提供が課題となっている。



災害時の制服

### 社会福祉とソーシャルワークの実態

視察した実践現場は、高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉のような日本でも主流化している専門領域に加え、人身取引被害者や海外で虐待された移住労働者等のシェルターと学校を中心にソーシャルワーク活動を展開している回教組織を含んだ。

### シニア生活区@ド・カヤンガン（高齢者住宅）

インドネシアの不動産開発業者が日本のケアサービス経営グループと連携して開発を進めているジャカルタの近郊にある高齢者向けの住宅である。



住宅地のフロント受付

日本でいえば健康型有料老人ホームにあたるが、インドネシアではこの種の施設に対する法的位置づけはない。

<完成予想図>



現在その一部が供用されているが、終身利用権は、「アパートメントタイプ」で680～1235万円、「ヴィラタイプ」で1970～2700万円とかなり高額であり、現在はタイムシェアなどの利用者は数名にとどまっている。今後、インドネシアの富裕層や海外からの利用を見込んでいる。



アパートメントタイプ棟（左）右・センター



室内の様子  
— 59 —

現状では介護に対応する施設とはいえないが、日本の介護事業会社との連携は、日本の介護事業の経験を導入する意図ではある。だが、ヴィラタイプにはハウスメイドが住み込む部屋があり、香港や台湾等で見られるようなハウスメイド型介護が想定されている。賃金格差が大きい国で見られる、家事労働と介護労働の同一視からくる形態である。



ヴィラタイプ棟

提携先の日本の会社は、こうした住み込み型従事者を個人で雇って居住させる場合にも一定の研修を受講させることを要件としているが、それで介護の専門性の獲得が可能かどうかは疑問がある。何よりも、こうした労働形態は従事者の家族形成・家庭生活等の保障がなく人権上の問題が生じやすく形態であることに留意したい。

チビノン国立職業リハビリテーションセンター  
(障がい者の職業訓練所)

社会省とJICAの協力によって作られた施設で、障がい者の職業訓練を行っている。訓練分野は、パソコン、ミシン裁縫、印刷デザイン、電気工学、金属加工、自動車整備の6コースに分類される。センターの事業内容は、1年間の教育に留まらず、全国各地における入学希望者の募集とアセスメントから、社会参加を目指したフォローアップまで含まれている。



JICA 提供の検査ツール

### バンブ・アプス社会的保護ホーム (子どもの一時保護所)

社会省管轄で、特別なニーズを抱える0歳から18歳までの子どものためにシェルターを運営している。特別なニーズは、暴力被害、触法、性的及び経済的搾取、人身取引被害、災害や紛争の緊急事態、虐待、家族分離や育児放棄という問題を指す。子どもを最悪な状態から守ることで、普通に成長・発達・生きることを可能とし、子どもを子どもの当たり前前の生活に戻すことを目的としている。設立の2004年から2015年3月現在まで、合計1,002人の保護実績がある。保護期間中に、衣食住、健康・医療、教育、感情面、社会参加や人間関係などのニーズの充足に向けたサービスを提供している。また、出身地域や家族への再統合や他機関への送致（リファー）のようなアフターケアも行っている。なお、外務省、国際移住機関、警察、複数の病院、国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）、各種NGO等々の他機関と連携を結び、幅広い支援ネットワークを構築している。

日本の全て施設を知っているわけではないので一概に比較はできないが、日本の施設や一時保護所よりも広々としていて、カラフルな色遣いがされていた。



一時保護ホームと保護ホーム

### バンブ・アプス保護ホーム及びトラウマセンター (犯罪等被害者の一時保護所)

各種暴力あるいは人身取引等の犯罪被害者を対象に社会省が運営している成人の一保護施設である。被保護者の多くは、海外で雇用主による虐待や性的搾取等の被害に遭った海外出稼ぎ労働者である。保護中のグループセラピーやカウンセリングのトラウマ対応と同時に、出身地域への再定住に向けた支援を行っている（家族捜査など）。

インドネシアではこうした被害者への援助を、社会省に対し法律で義務付けている。2014年は930人以上が利用し、その内の約600人がトラフィッキング（人身取引）の被害者である。また、女性の利用者が圧倒的に多いという。

海外での出稼ぎ労働は、家事手伝いなど家庭の中に入るため被害が見えにくく、国境をまたいでいるため対応も難しい。仲介業者から不当な紹介料を要求される被害や様々な場面で搾取にあっている。

## ダールト・タイヒッド・プサントレン（回教学校）

プサントレンは、インドネシア社会において重要な役割を果たすイスラム教の寄宿制学校のことである。ダールト・タイヒッドは、インドネシア語で「唯一存在の家」で、即ち「神様の家」という意味であり、本校を運営している回教組織の名称である。同業者と比べ、短期コース、オンライン教育などの信者のニーズに配慮した柔軟な教育体制が特徴である。また、学校が母体に過ぎず、広範囲の社会サービスに取り組んでいる。同じ地域で、保育園、幼稚園、診療所等々を運営しながら、学校では生涯教育の一環として高齢者向けのコースも設けている。教育内容は宗教及び道德教育が中心で、多くの信者にとって心の支えとなっている。なお、営利部門として各種商業施設を運営することで、ニーズを抱えている家庭に授業料の免除、奨学金などのサービスを提供しており、福祉等事業に必要な資金を他部門で稼ぐという仕組みを形成している。



建物の外観と集合写真

## 社会福祉教育とソーシャルワーク人材養成

研修中に、インドネシアの社会福祉研究及び教育をリードする下記2ヶ所のソーシャルワーカー養成校では、両国の教員と学生が交流できる時間を設けた。

### バンドン社会福祉大学

社会省研究教育委員会直属の学校である。設立の1964年から2014年までの半世紀に渡り、学部は11,821人、大学院は208人の卒業生を出してきた。2015年の在学者はそれぞれ1,509人と52人である。学部ではジェネラリスト養成が中心であるが、大学院ではクリニカル（臨床）ソーシャルワークとコミュニティ（地域）ソーシャルワークという2つの集中コースを設置しており、且つ貧困・子ども家庭・障がい・災害・薬物乱用・医療ソーシャルワークの幅広い専攻（計6つ）から選択できるようになっている。2013年より、社会省を通じて、日本社会事業大学と交流協定を結んでいる。

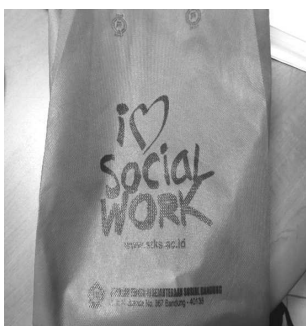


学内のモスク





姉妹校の皆さんと



大学で取り組んでいる啓発キャンペーンのグッズ

インドネシア大学社会政策科学学部社会福祉学科  
インドネシア大学は日本でいえば東京大学にあたる大学である。緑豊かな敷地が広く、設備が豊富で、学生は学力と意識とも非常に高い。訪問の際に、学部生にキャンパスを案内してもらってから、両国にとって災害が大きな共通課題であるため、本学教員の東日本大震災に関する研究報告と続いた。それを経て、教員・院生・学部生をマッチングし、別々に触れ合う場が与えられ、お互いについて理解を深めるとてもいい機会になった。



社会政策科学部の入り口



インドネシア大学の広いキャンパス



学部生交流会の様子



学内レストランで集合写真



タマン・ミニにて

## 文化学習

本学の海外研修では、専門的な情報収集に加え、異文化に触れ、それについて詳細な知識の習得による体験型学習を通じた参加者の将来のソーシャルワーカーとしての文化的な力量の向上も目的の一つとして位置づけている。本研修では、カウンターパートの社会の調整力が高く、専門的なプログラムの比重が例年より大きくなったが、最終日を最大活用して以下の訪問先をスケジュールに含めた。

### タマン・ミニ

インドネシア列島をテーマパーク風に小規模で再現した国立公園である。スハルト大統領夫人のイニシアチブの下で立てられた。各地方・民族・宗教の区域が設けられており、インドネシア文化の多様性と豊かさに圧倒される場所であり、本研修の参加者も消化しきれない部分が多く残った。



タマン・ミニにて

## 国立博物館

ジャワ原人から始まるインドネシアの歴史と伝統な手芸に関する展示を中心に回った。植民地構造について深く考えさせられた。

## 旧市街

オランダ植民地時代の港で、オランダ行政の拠点であった地域で、ヨーロッパ風の街並みが特徴である。現在は若者文化の一つの中心で、娯楽等の目的で訪れる人が多い。



旧市街の様子

## 謝辞

本事業の実現に向けて助成金を提供して下さった全国生活協同組合連合会、社会省の皆さんをはじめとしてインドネシア現地で協力して下さい下さった方々、そして日本国内で仕事をして下さった学内外の方々、深く感謝の意を申し上げます。

## 参考文献

### 和文

- アンドリ アリフ フリマンサー . (2015) 『Senior Living @ D'Khayangan のコンセプト』. パワーポイント発表 .
- ジャバベカ ロングライフ シティ . (2014) 『Senior Living @ D'Khayangan』 . ジャバベカ レジデンス .
- 地球の歩き方編集室 . (2013) 『地球の歩き方：インドネシア (2014～2015)』 . ダイヤモンド社 .
- 都築 まさ子 . (2007) 「インドネシアにおけるソーシャルワーク教育」 . 『アジアのソーシャルワーク教育』 (日本社会事業大学社会事業研究所編・大橋謙策他編) . 学苑者 .
- 中村 圭介 . (2010) 「インドネシア — 未熟な社会保障と 4 つの格差」 . 『東アジア福祉システムの展望 — 7 カ国・地域の企業福祉と社会保障制度』 (末廣昭編) . ミネルヴァ書房 .
- マルジュキ , ンルソン アリトナン (中村君子約) . (2005) 「インドネシアにおける社会福祉事業とソーシャルワーカー」 . 第 18 回アジア・太平洋社会福祉教育・専門職会議 (韓国) 発表論文 (日本社会福祉士会ホームページより) .

### 英文

- Bandung School of Social Work. (2014) *Profile of the Bandung School fo Social Work - 50th Anniversary Booklet*. Ministry of Social Affairs of the Republic of Indonesia.
- Central Intelligence Agency. (2015) *The World Factbook*. Central Intelligence Agency Website.
- Kanya Eka Santi. (2015) *The Bandung School fo Social Work*. Powerpoint Presentation.
- Ministry of Social Affairs of the Republic of Indonesia. (2010) *Indonesian Conditional Cash Transfer*. Ministry of Social Affairs of the Republic of Indonesia.

- Ministry of Social Affairs of the Republic of Indonesia. (2013) *National Vocational Rehabilitation Center*. Ministry of Social Affairs of the Republic of Indonesia.
- Ministry of Social Affairs of the Republic of Indonesia. (2014) *Social Protection Center fo Children*. Ministry of Social Affairs of the Republic of Indonesia.
- Mu'man Nuryana. (2015) *Social Welfare Policy and Program in Inodesia*. Powerpoint Presentation.
- Permanent Mission of the Republic of Indonesia to the United Nations. (2002) *About the Republic of Indonesia*. Permanent Mission of the Republic of Indonesia to the United Nations Website.
- Romal Sinaga. (2015) *Social Protection Home for Children*. Powerpoint Presentation.
- Tetrie Darwis. (2015) *Mosa Activities in National System of Disaster Management*. Powerpoint Presentation.